自立活動の部屋　～かがやき★自立活動通信～

NO. 5

令和６年２月２２日

埼玉県立草加かがやき特別支援学校　自立活動専任

今回の通信では、「様々なコミュニケーション方法」についてお伝えします。ご家庭でのやりとりの参考にしていただけますと幸いです。

伝え合う楽しさを大切に！

参考：
島治伸・秋本公志(2011)特別支援教育時代のコミュニケーション支援．ジアース教育新社．
坂井聡(2019)知的障害や発達障害のある人とのコミュニケーションのトリセツ．エンパワメント研究所．

自分の気持ちを「伝えよう」と思うことから、コミュニケーションがスタートします。やりとりの楽しさや便利さに気づき、「もっと伝えたい」と思うようになるためには、コミュニケーションが成立する経験が必要です。身振りでもカードでも、アプリや発声でも、いま持っているスキルでストレスを感じることなく使用できることが大切です。どの方法が使いやすいかを一緒に模索しながら、伝え合う楽しさを味わえるコミュニケーションを目指していきましょう。

カード

イラストや写真を提示することで、コミュニケーションが広がります！

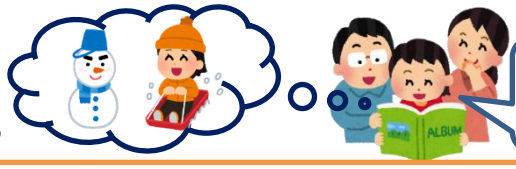
・カードを使い、指さしや言葉で伝える

（カードを渡して）
プレイルームに行きたい!!

楽しかったのはどっち？

今日の給食、どれが楽しみ？

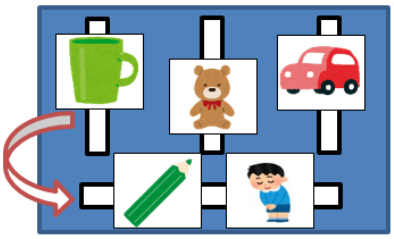
・写真を見ながら振り返る
→経験したことを思い出しやすくなる



冬休みに雪だるまを作ったね！
そりすべりも楽しかったな♪

ＰＥＣＳ（絵カード交換式コミュニケーションシステム）

コミュニケーション支援の１つ。ほしいもの、やりたい活動を１枚の絵カードで伝えることからはじめ、複数の絵カードから選択したり、「えんぴつ」「ください」のように絵カードで文を作ったりする。絵カードはコミュニケーションブックに貼り付けられ、外してボード上に並べられるようになっている。



参考：アンディ・ボンディ/ロリ・フロスト（2020）自閉症児と絵カードでコミュニケーション―ＰＥＣＳとＡＡＣ―第２版．二瓶社．

アプリ

使いやすいものを探してみてください♪

平仮名ボード　しゃべる五十音表

ひらがなをタッチで入力、「♪」ボタンで再生。自分が入力した文字が音声になるので、遊びで使ったり、声を出す代わりのコミュニケーション手段として使ったりすることができる。

参考：App Store プレビュー（ホームページ）

Drop Tap（ドロップタップ）

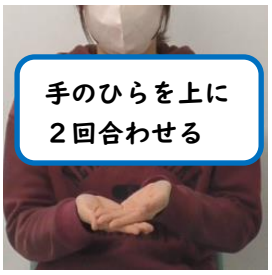
コミュニケーション・シンボル「ドロップス」が音声と共に収録されている。シンボルを並べて文を作り、連続して再生できる「センテンスモード」もある。

参考：ドロップレット・プロジェクト（ホームページ）

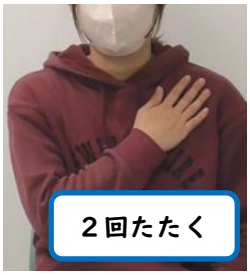
サイン

学校で使っている一部のサインを紹介します！
※使用状況は学部・学年によって異なります

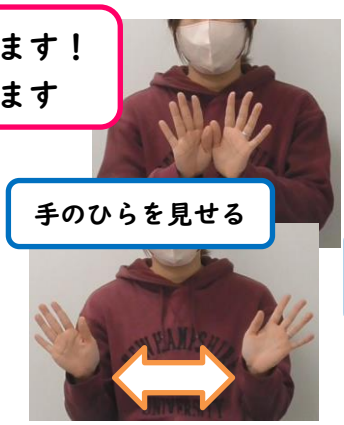
おねがい



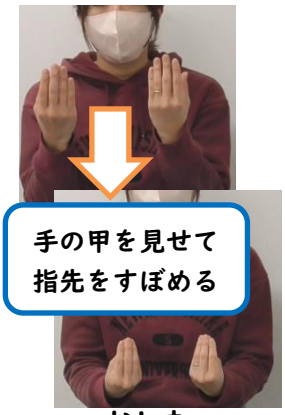
ください



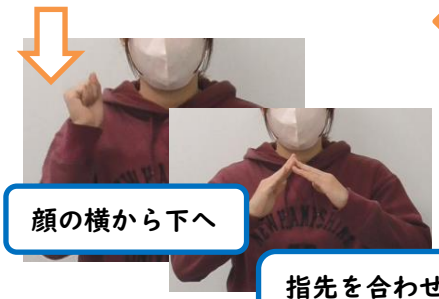
トイレ



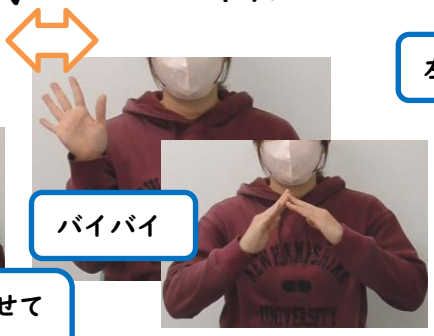
はじめる



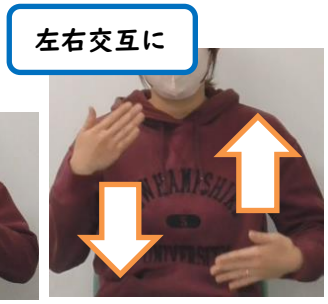
おしまい



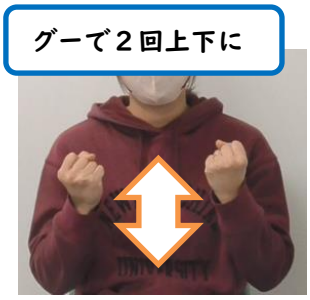
朝の会



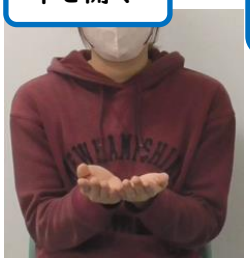
帰りの会



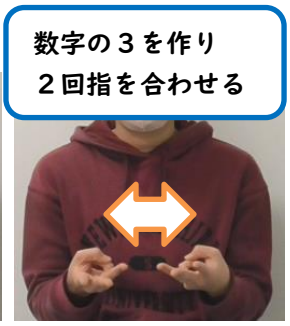
たのしい



がんばる

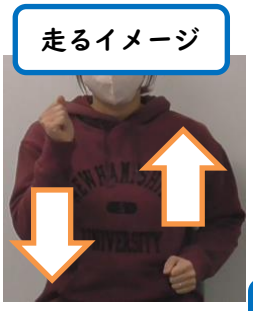


国語

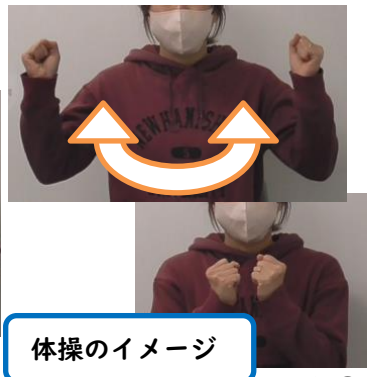


算数

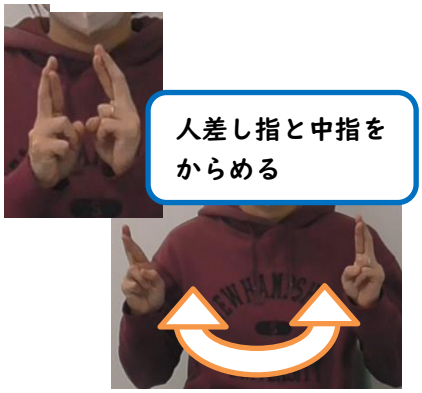
図工



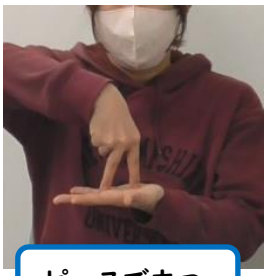
体育①



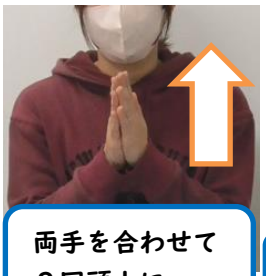
体育②



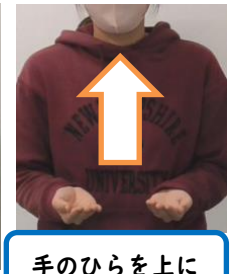
音楽



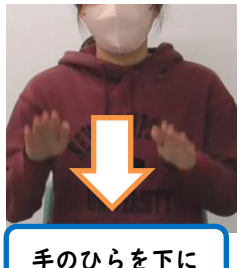
自立活動①



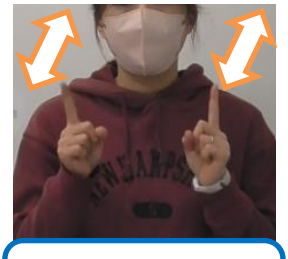
自立活動②



立つ

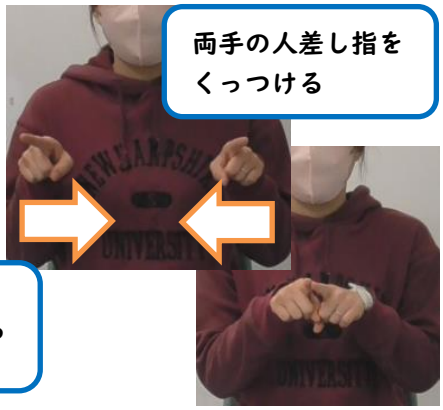


座る

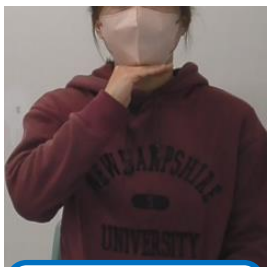


遊び

給食



一緒



待つ